

審判員派遣報告書

派遣事業名	第30回四国中学校バスケット ボール黒潮新人大会	派遣期日	令和6年2月11日
報告者	和田裕貴	派遣先	高知県高知市

1 大会概要

大会名称	第30回四国中学校バスケット ボール黒潮新人大会	大会期間	令和6年2月11日～12日
大会概要	四国4県の男女各上位2チームが参加。新人戦の四国大会という位置づけ。		

2 担当試合 ※（試合内容は簡潔に書いてください）

日程	令和6年2月11日	会場	春野総合運動公園体育館
審判クルー	CC: 久樹拓矢（徳島） U1: 和久翔一（高知） U2: 和田裕貴（香川）		
担当試合	古高松・高松北（香川2位） VS 土居（愛媛1位）		
試合内容	古高松・高松北が激しいDFから土居のミスを誘い速攻での得点を重ねていく。また3Pもよく入り土居を引き離した。4Qに土居もリズムが出てきたが追い上げには至らなかった。		

日程	令和6年2月11日	会場	春野総合運動公園体育館
審判クルー	CC: 竹内英貴（高知） U1: 永井広典（高知） U2: 和田裕貴（香川）		
担当試合	新居浜東（愛媛2位） VS 城東（徳島2位）		
試合内容	お互い1対1からの得点を重ねるが、新居浜東の3Pが効果的に決まり点差が開いた。城東は前半にスタート選手のファールが多くなってしまい積極的なDFができないことが痛手になった。		

3 大会（研修会）を通して 《 学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等 》

●初めてのクルーとの意思疎通とCCメンタリティー

初めてのクルー、且つほぼチーム状況が分からない中でゲームを進めながらお互いが気になっている事をクォーター間やハーフタイムで擦り合わせていく事が求められました。U2 だからという考えではなく自分がCCのつもりで積極的に意見を言う良い経験が積めたと思います。

●TOとの連携

中学生がTOをしてきていた事もあり、クルー間では表示物を意識的に見ると言う確認をしてゲームに入ったものの予想以上に修正をする場面が多くなった。特にショットクロックは不安定だったので担当している子に落ち着いて操作してもらえようハーフタイムなどに声かけをするなどして円滑なゲーム運営ができるようにする為の勉強になった。

●その他

1日だけですが初めてU15四国新人を担当させて頂きました。初めてのクルーと審判をする機会は県内ではあまり無いので特にコミュニケーションの部分でいかにシンプルに分かりやすく伝えるかレフェリーとして成長の機会となったと思います。最後にこのような機会を与えてくださった香川県協会の皆様ありがとうございました。